

『協力伝道週間にあたって』

吉田真司

本日より来主日まで日本バプテスト連盟 (以下「連盟」) の「協力伝道週間」です。それに先立ち、『聖書教育』(2024年1月号) 巻頭言を執筆しました。今号はその内容の抜粋です。どうぞお読みください。

「連盟は今年度より新しい機構となりました。中期 (2023年度～2026年度) の主題として『今、共にキリストを証しするために～新たな自立と協力』を、副題に『各個教会・地域が主体となる協力伝道へ』を掲げて歩んでいます。

連盟は加盟教会相互の協力を通して、教会の霊的生命を深め、伝道、教育、出版等を通して、キリストの福音をひろめるために結成された協力伝道体です。(中略) 今、財政の減少、働きを担う人財不足など苦しい状況にある加盟諸教会・伝道所、教会の存在自体が揺るがされている現状があります。しかし一方、その中でこれまでとは異なる形での新たな宣教の展開へと導かれている教会も多くあります。それらのチャレンジに励まされ、また支え合える関係性も連盟につながっている恵みです。今私たちは、あらためて共に加盟していることの意味や目的を確認し、互いが担うべき役割や責任について考え、つながることを喜び、そのために互いに開かれ、協力する関係を新たに築いていきたい、そしてお互いを立て合っていきたいと思えます。その協力の具体として協力伝道献金があります。私たちがこの協力伝道週間を年度末近くに設定しているのも、それぞれの教会が次年度に向けて活動予算を計画する中で、連盟の協力伝道を共に祈り覚え支え合っていきたい、との思いからでしょう。上述のようにそれぞれの教会現場の体力が小さくされている中であって、持ち寄り合える献金は決して大きくないかもしれませんが、けれども、イエスさまはあのレプトン銅貨2枚をささげた一人の貧しいやもめを大いに祝福してくださいました。これからいよいよ「協力伝道献金体制」を確立していこうとする連盟にあつて、キリストを証しするために協力し合える喜びを再確認し、そこに向かって祈りを結集してまいりましょう。」

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00～10:00 (相模原礼拝)
		午前10:40～12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30～10:20
		(嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)
祈り会	水曜日	午後 7:30～9:00
金曜集会	金曜日	午前10:30～12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前10:00～12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30～3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&FAX046 (274) 3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>